

日中、草の根交流を促進

神戸「春節の集い」に120人

2015.2.11 神戸

日中の友好に取り組む団体のメンバーが交流を深める「春節の集い」が10日、神戸市中央区下山手通2の中華料理店「神仙閣」で開かれた。神戸華僑総会会員や留学生ら約120人が集まり、新年を祝って乾杯した。



春節を祝って乾杯する参加者＝神戸市中央区下山手通2

同総会や孫中山記念会など5団体が主催。新年の恒例行事だったが、尖閣問題などで日中の関係が冷え込み、2013年にいったん中断した。しかし、14年11月に西国の首脳が会談し、「神戸から新たな友好の潮流を作ろう」と2年ぶりに再開された。

劉毅仁・中国駐大阪総領事館大使級総領事が「神戸は西国の長い友好の歴史に大事な役割を果たしてきた。草の根交流を続けて理解を深め合い、両国民の

幸せやアジアの発展のために努力していきましょう」と呼び掛けた。続いて、4団体が活

動を紹介。神戸市の非政府組織(NGO)「CODE海外災害援助市民センター」は、「四

川大地震や青海省地震の被災地支援を今後も続ける」などとした。

(阿部江利)